

議会活動の在り方検討特別委員会記録

招集（開催）年月日	令和5年3月9日（木）	
招集（開催）場 所	岩美町役場 全員協議会室	
出席委員	田中克美委員長、宮本純一副委員長、橋本恒委員、升井祐子委員、森田洋子委員、吉田保雄委員、田中伸吾委員、寺垣智章委員、川口耕司委員、柳正敏委員、澤治樹委員（副議長）	
欠 席 委 員	なし	
議 長 の 出 席	あり	
職 務 出 席 者	浜野議会事務局長	
傍 聴 者	なし	
開 会	13時18分	
記 録 者	議会事務局 中原書記	
調 査 事 項	あり	
審 査 の 経 過		
日 程	発 言 者	内 容
開会	田中克美委員長	*起立、礼 議会活動の在り方検討特別委員会を始める。
あいさつ	田中克美委員長	一時間以内ぐらいで終わりたいと思う。協力お願いします。
協議事項 (1)	田中克美委員長	きょうは協議事項が三つある。最初に令和5年2月28日の議会活動の在り方検討特別委員会で承認いただいたタブレット端末導入に関わる小委員会について、本来ならこの議員活動の在り方検討特別委員会で名称を決定するというようになっていたが、うっかり進めてしまった。改めてきょうこの小委員会の名称について協議する。日にちが少し経っているので、頭を整理するために、浜野議会事務局長からたたき台を言っていただきたい。目的にふさわしい名称をお願いします。
	浜野議会事務局長	定例会中に「小委員会について」の資料を皆に配布させていただいている。各議会で小委員会、分科会等の運営については決めることとされている。その中で小委員会を立ち上げる際には、小委員会の名称、定数、審査・調査する案件を決めなければならないとなっている。最初に名称ということで、議会事務局から提案をさせていただきたい。前回の委員会の中の議題をそのまま使わせていただいて「議会活動のあり方検討特別委員会タブレット端末導入に関する小委員会」という名称を提案させていただきたい。よろしくお願いします。
	田中克美委員長	よろしいか。
	皆	はい。
	田中克美委員長	名称は、今浜野議会事務局長が提案したとおりにする。
	寺垣委員	資料には、「小委員会で議論したことをこの議会活動の在り方検討特別委員会の委員長に報告する」と書いてあったが、報告の際には、先程の長い名称の小委員長名ですということだな。
	田中克美委員長	そうだ。
	寺垣委員	分かった。

<p>協議事項 (2)</p>	<p>田中克美委員長</p>	<p>「住民と住民参加の議会の政策、政策提起の取り組みについて」に入る。</p> <p>きょう私が準備した裏表1枚の資料と、それから参考の資料をつけた。</p> <p>きょうは勉強会ということでその中で改めて認識を共通にするために、なぜ私と宮本副委員長は、皆に渡した資料を学ぶことをやろうとしたのかと、学んだ中で出てきた「フリースピーチ制度等」との関わりで、森田委員から意見や質問があったので、それを改めて整理した方がいいなと思ったことを、回答というわけではないが、ここに提示した。</p> <p>それから、参考として「犬山市議会の取り組み」について他の資料をもとに整理したものをつけた。</p> <p>それから前回の議会活動の在り方検討特別委員会で、足立議長から提起があった議員報酬の問題についてこれまでの前期の議会活動の在り方検討特別委員会の流れも踏まえて、今後の対応の大まかな方向について、提案という形で、まとめたものをつけている。この1、2の順番に私から説明をして、この1と2は関連があるので、併せて最初に私からかいつまんで報告したい。</p> <p>1「犬山市議会の挑戦を学ぶことを提起したのはなぜか」ということについてだ。前期の議会活動の在り方検討特別委員会の取組をまとめ、報告した。その際にその中で取組として不十分な課題、まだ未着手の課題として挙げたのが、住民参加の問題と政策提起の問題、それから、報酬問題だ。大きく言えばこの三つだったと思う。これを今期の議会活動の在り方検討特別委員会で取組みたいと思っている。</p> <p>前期に取り組んだ議員力の向上の取組と議会の公開の取組については一定の成果を見たと思うが、引き続き今後も継続してそれに努力しながら、住民参加と政策提起の仕組み作りを活動の柱として進めていって、しかるべき時期に議員報酬の検討に着手をしたいという思いだ。この議会として政策提起ができるようになるためには、議論する力と政策立案力が求められるということでこれをどうするかと思ってるところに、犬山市議会の取組があった。問題意識と合致する点があったので、犬山市議会が取り組んでいる議員間討議と市民フリースピーチの取組に着目をした。これを学び、同じことを真似することではなく、やってる中からいろんな学びをつかんで、今議論する力をつけながら、住民参加の面でも実践し、政策立案、政策提起に実らせる取組になってると判断したので、これを学ぶことから始めようと呼びかけた。</p> <p>そして、この前の議論の中で森田委員の意見があった。これまで前期の中で意見交換会を、何回かやった。これも度々議会活動の在り方検討特別委員会で述べてきたが、一番の反省点というのは、出された町民の意見、提起された課題を、この議会として受け止めて対応策を検討することや、意見を述べた方に返すことなど意見交換会後の議会の取組の仕組みを、整えてこなかったこと</p>
---------------------	----------------	---

だ。

ずっと前の前々期から各常任委員会で意見交換会をやってきたが、しっかりとした後のフォローする仕組みをしないで、せいぜい参加した個々人の議員が自分の問題意識と噛み合っているところは一般質問を取り上げるとかそういうことはあったが、アンダーラインが引いてあるように「議会として受けとめ」、議会としての対応に取り組む仕組みを作っていなかったの、作っていくことに挑戦したいというのが今回提起したことの一つだ。このことを理解していただければありがたい。

別紙の参考資料で紹介しているように犬山市議会はフリースピーチ制度を平成30年2月から始めてるが、この議員間討議というのは、平成22年度の議会改革から取り入れている。実はこの改革のときに、議会基本条例も作ったが、ピアンキ議員の講演に書いてあったように、条例の中に何度も、委員間討議と書いてあるが、一度もやってないんじゃないかというようなことを問題提起して、それで全員協議会、それから常任委員会の中での議員間討議というのを、ピアンキ議員が提起して、最初にやったのが常任委員会の議員間討議で、その後で全員協議会もやるようになったことだ。そういう流れの中で、今があるということだ。地方議会人の1月号でピアンキ議員が寄稿している文章があった。それを読んだときに、その議員間討議と政策提起の取組はそれなりに、時間と努力が必要だと書いてあった。

そういう積み重ねのうえにフリースピーチ制度をやったのかなと思、この参考の1に書いた。

市民フリースピーチ制度の狙いや効果というのは、どういうことだと森田委員から質問があったが、渡した講義講演の4ページの4段落の3行目から4行目に書いてある。2行だけなので、読んでみる。「狙っている効果は市民の直接参加によって市政への関心を高めること、議会や議場に親しんでもらうこと、議会活動や市政に市民の意見を反映させること」と書いてある。この前後の文章を読んでみると、議会の機能を発揮するうえでの意味が、この2行だけで終わらないで理解が深まってくると思う。

次からどういう進め方をするのか、後で宮本副委員長と相談するが、私と宮本副委員長とで学ぶことを提案したのは、こういう意味だときょうは承知していただきたい。

当然議員間討議で課題について提案するのではなくて、意見交換会をやった後、例えば各常任委員会で、出された意見や課題を、常任委員会としてどのように対応するのか、執行部に対する申し入れとしてまとめた方がいいような課題があれば、それを常任委員会の中で討議して、それをまとめて、執行部に繋げていくということが、参考の2の方の流れの意味だ。「全員協議会で討議」と資料の真ん中に書いてあるが、これがフリースピーチや女性議会との関係で書いてあると思うが、市民との意見交換会の場合は、必ず全員協議会となるわけではなく、常任委員会ですこ

		<p>ともある。</p> <p>常任委員会とどめずに全員でやろうとなれば、全員協議会でやる場合もあると思う。ここには全員協議会としか書いていないが、場合によっては、常任委員会での討議もあることを承知しておいてほしい。流れはこのようになるということだ。</p> <p>これを実行するためには、必要な討議をすることに慣れていくことが大事だ。集団で共通の取組によって力をつけていくことができるのではないかと思う。それにふさわしい取組を犬山市議会はしていると私は思っている。また、1人で全部喋ってしまった。</p> <p>森田委員いいか。</p>
	森田委員	ありがとう。分かった。
	田中克美委員長	他の方はどうか。ポイントは議員としての活動だ。
	柳委員	<p>田中克美委員長、確認させて。犬山市議会のフリースピーチ制度を勉強させてもらったが、言葉が悪いかもしれないが議員のパフォーマンス的には立派だと思うが、私は今の岩美町議会である程度経験して積み重ねもやってさらにその上を目指すことは必要かもしれない。全員協議会の開催で議員間討議と言うが、何ら問題があると予想された場合、そして何かの問題が起こったとき、起こった後の対処の問題も必ず議長が招集して皆で確認をしているという部分で、たまたま対外的に知られていないだけで、岩美町議会が決して劣っていると私は思っていない。それから、定例会ごとに、委員会等々も含めてその議員間討議って書いてあるが、中身がない。どういったものを討議するかが私には分からない。例えば岩美町議会で言うと、上程されるようになってしまうので、少し置いといて、担当常任委員会を行った後に、全協で確認をして、本会議に上げていく理にかなった流れを作っていると思う。常任委員会の中身の議論をあえてこの本会議中に議決前に討議をすることになれば、常任委員会では何も議論していないのかというような、充実した審議ができていないと見なされるような気がする。私は今産業福祉常任委員会に所属していないが、産業福祉常任委員会でも十分な審議がなされてると思うし、総務教育常任委員会も総務委員長をはじめ議長も所属しているので、きちんと審査をしていると私は思っている。</p> <p>そして、その常任委員会の中だけではなく、事前にその案件について、それぞれが勉強してきた中で、了とするか、ストップをかけるのかだと思う。充実した審議をやってきてると思う。今に甘えることなくさらに充実を求めるのは確かだと思うが、定例会中に、全員協議会をあえて開いて、何を議員間討議するのかよく分からないので、教えていただきたい。</p>
	田中克美委員長	定例会中の議員間討議など全員協議会開催というのは、一般質問する、それから、議案質疑をする、これは本会議の議案質疑だな。それが終わった後に、一般質問、それから上程議案の質疑を踏まえて、議員同士で討議することだ。

		<p>それはどういうものかがこの前配った中の会議録があったと思う。</p> <p>岩美町議会が議員間の議論をしてないとか言うんじゃない。議案として出された一般質問に関連する課題を議員が提起して、それを議員間で議論することが議員間討議だ。</p>
	柳委員	<p>例えば、昔からあった場合はそれぞれの政治理念が一緒だとかそういった部分で共通している部分があるが、全体になるとそれぞれの議案に対する案件についての質疑や指摘についても、やはりその自分の思想等々によっては全く違うことがある。例えばこれについてはどうだったっていう部分はそれぞれが浜野議会事務局長に相談したり、仲のよい議員間でこれはどうだったかというような、確認を全体でやる。例えば森田洋子議員の一般質問について、これこれを言われていたけどどうだったかなというようなことは私にはできない。範囲を教えてほしい。</p>
	田中克美委員長	<p>会議録を去年の9月議会のときつけたが、参考資料に見てないのか。それを帰ってから読んでみて、どのような議論をしているか、要するにどういうやり方をしているのか、議員間で議論するというのは否定しないと思うので。それをどういうタイミングで、どういうやり方にするかということはこれからまた共通認識をしないので、岩美町議会にあった形にしないといけない。本会議の流れがちょっと岩美町と違う。</p> <p>次に、事前に2番目の場合は、全員協議会でやるが、流れを見ると質疑を読み上げる場合は、事前協議はない。上程して、休憩をとって、それから議案の精読の時間を取ってる。それぞれ勉強する時間は全然違う中で、良い意味では、議員間討議、実効性を高めるためにどういうタイミングでどんなふうにするかを我々自身が考えればいい話だ。ただ事前に共通認識を持った上で議論しなければということがあるので、勉強から始めるわけだ。単純に真似するのではなくて、その辺の議論は、どんな形でどんな資料でするのかは宮本副委員長と相談して、次回は定義の問題提起をするので、きょうは犬山市議会は、こういう考え方と流れだと理解しておいてほしい。土台が違うので、そのまま同じことをしようとは思ってない。</p> <p>よろしいか。</p>
	升井委員	<p>一般質問の後の全員協議会の中でフリースピーチ制度を取り扱う問題や質問の内容は、一般質問の中で1問とか2問か。それとも全員のを取り扱うのか。</p>
	橋本委員	<p>具体的な話は次回以降にと言っておられる。</p>
	田中克美委員長	<p>一般質問を挙げて議論するんじゃない。理解してもらうために、参考資料として会議録を付けている。会議録を見て。</p>
	田中伸吾委員	<p>田中克美委員長はよく勉強して理解しているが、私達は勉強不足で、つい一般質問とかフリースピーチ制度とか出るとそちらに気をとられてしまう。もう少し砕いて優しく説明してほしい。</p>
	田中克美委員長	<p>資料がたくさんありすぎてもいけないと思って、常任委員会の討議、全員協議会での討議、その一般質問とそれから他のことを</p>

		踏まえた議員間討議を会議録をつけておいた。これも昨年の9月議会のときのものだが、会議録をその部分だけ抜き出してつけた。読んでほしい。どんな議論がされてるか、どんなその定義がされてるかを、実際私もそこに参加したわけじゃない。会議録を読んだらこういう雰囲気に分かると思ってつけた。
	宮本副委員長	前回の資料の話だ。
	澤委員（副議長）	個人的には、既に常任委員会や全員協議会で議員間討議していると思っている。 田中克美委員長は思っていないかもしれないが、私達はその中で討議していると思っている。それからまた、一般質問をしてまた議員間討議をするというのは。
	田中克美委員長	だから、議会議事録を読んでと言っている。
	澤委員（副議長）	一般質問の真ん中あたりに「一般質問・上程議案の内容等を協議する議員間討議を行う」と書いてあるな。
	田中克美委員長	犬山市議会が一般質問をするうえで議案の内容と協議する議員間討議をどんなふうに行っているかを理解してもらうため、参考に会議録をつけているので、それを読んでほしい。
	宮本副委員長	これをするという意味ではない。
	田中克美委員長	同じやり方を真似しようという気はない。
	澤委員（副議長）	これは犬山市議会がこうやってるということか。
	田中克美委員長	これは犬山市議会の取組と上に書いてあるでしょ。
	宮本副委員長	前回の資料のあらがきだ。
	足立議長	すすめて。
	田中伸吾委員	田中克美委員長が資料提供してくださったのが、これと同じようにやらないとだめだというような意識の方が先に来てしまっているんで、この前の森田委員もそうだと思うけども。もう少し噛み砕いて、犬山市議会はこうだからとしないと、皆がこればかりにかかっていないので。
	宮本副委員長	このとおりには、岩美町はあてはまらない。独特のものをするということだ。
	田中伸吾委員	性急にしないでゆっくりかみ砕きながら岩美町議会にあったようにやっていただかないと。犬山市議会がこうだからこうしましょうというんじゃないと思うけどね、言われることは。
	田中克美委員長	そうじゃないってことを何回も言っているが。
	田中伸吾委員	だけど資料からはそう読めない。
	田中克美委員長	資料は犬山市議会の資料だ。
	田中伸吾委員	話がかみ合わないからこういうことになる。
	足立議長	会議にしよう、会議に。
	田中克美委員長	会議録でそれを読んでほしい
	宮本副委員長	きょうはそのことをお伝えしたい。
	田中克美委員長	きょうは前回その辺が、ちょっと齟齬（そご）があったと思ったから、再確認ということも含めて、これ共通認識しておかないと、次の議論が進まないから、あえてこういう資料を出した。これが犬山市議会なんだ。
	田中伸吾委員	犬山を前面にアピールするから。

	田中克美委員長	犬山の例を学んでいるんだから、今。
	足立議長	まあ、田中委員長、進めよう。
	田中克美委員長	議長から見たら進んでないように見えるかも分からないが。
	柳委員	きょうは問題提起で、改めて再確認できたということで、次はどうするかということにしよう。
	澤委員（副議長）	個人的に思うのは、犬山市議会のところを参考にするには、議員間討議とかフリースピーチ制度とか岩美町議会には飛躍しすぎだと思う。
	田中委員長	ハードルが高いってことか。いやそうなんだが、挑戦したいと思ってる。
	澤委員（副議長）	それは、田中克美委員長の意見だ。
	田中克美委員長	挑戦しないといけないと思っている。そうでなかったら、議員報酬の問題は乗り切れないと私は思っている。挑戦だ。成功するかどうかだ。
	澤委員（副議長）	それは田中克美委員長の意見だ。みんなの意見を聞いてみてもらわないと。
	田中克美委員長	そのつもりだが。返事もしないし、反抗もしないし。
	柳委員	きょうはある程度意見を伺ったということでこれを踏まえて、一つ一つ確実に進めていくということで、この件については、きょうはこの程度でいいと思う。
その他	田中克美委員長	今そういう意見が出たんで、3. 協議事項はおしまいにする。次に4. その他の、議員報酬問題対応についてだ。前期のときに、議員報酬や政務活動費など公的資金の対象になる議会活動議員活動の範囲というのは議論して定めた。前期は過去1年間の活動時間を思い出しながら記録した。いつの時点で議員報酬の議論になるかっていうのは我々の議論の進み具合・取り組みの進み具合になるが、改選して1年経った今年の8月から来年7月までの1年間の議会活動・議員活動の時間を記録して、それを集計する1年後の来年の8月以降に議員報酬額の算定作業にすすもうということだ。 それでは冒頭でも言ったが、次のときにきょうのことを踏まえて次の議論の仕方をどういうふうに進めるか副委員長と相談する。それと議員報酬の問題についても、どういう時期に、どんなふうに進めるかという進め方も含めて、それが次のときにしよう。よろしいか。
	皆	はい。
	田中克美委員長	ちょっと進め方が独断と偏見だったかもしれないが。混乱があったら詫びる。改めてこの前、渡している資料、会議録を含めて、改めて読み直してみしてほしい。浜野議会事務局長よろしいか。
	浜野議会事務局長	はい。
	足立議長	終わったら、タブレットの小委員会のメンバーの役員を決めたいと思う。議長室に集まってほしい。

閉会	田中克美委員長	それでは、議会活動の在り方検討特別委員会は以上で閉じる。 *起立、礼 14時20分閉会
----	---------	---

上記のとおり会議の次第を記録し
これを証するため、ここに署名する。

議会活動の在り方検討特別委員会委員長

田中克美